

新聞から読みとくSDGs

～知る、深める、伝える～



場所: ウェンディひとまちプラザ
(広島県広島市袋町)

参加者: 24名
(教員、会社員、学生、NPO関係者など)

※NIE...Newspaper in Education (新聞に教育を) 新聞を活用した教育活動

新聞を活用したアクティビティを体験し、実践に
つながる授業の手法を学
びました。

新たな学びのネットワーク構築と実践的な授業の手法を学ぶことを目的に、日本NIE学会理事の有馬進一先生をお招きし、中国地方の学校関係者などNIEやESDに携わる多様な参加者と、新聞からSDGsへの理解を深めるフォーラムを開催しました。また、後半は山陽新聞社、中国新聞社より、教育現場でのNIEの実践事例をご紹介いただきました。新型コロナウイルスの影響で急遽半日の開催となりましたが、実施後アンケートのコメントでは「ぜひ授業に取り入れたい」「また開催してほしい」など、参加者にとって満足度の高い学びの機会となりました。



ワークショップ「新聞×SDGs」

●「ペタッとSDGsふせん」

朝日新聞社が作成した「ペタッとSDGsふせん」を使い、当日の朝刊からSDGsのゴールに関連する記事をさがし、ふせんにつぶやきを書いていきます。最後に壁に貼ってある全ページの新聞に貼り直し、全体で共有。同じ記事でも参加者によって視点は異なり、新たな課題も見えてくるので学びが深くなります。また、SDGsの視点から考えることで、教科の枠も飛び越え新たな課題を発見することができます。授業ではふせんが貼られていない記事に、どう意識を向けさせるかは教育者の腕の見せどころです。



●SDGs マッピングで記事分析



中国地方の地方紙4紙の記事を読み、「環境」「社会」「経済」にどのような影響を与えたのか分析をおこないます。「誰ひとり取り残さない」大事な視点です。課題を見つけることで、自分の生活は“持続可能”なのか改めて考える機会にもなります。

参加者

コメント 「有意義な時間でした。SDGsを単独で取り上げるのではなく、“結果としてつながっているよね”という発見を生徒たちにさせていきたいです」

「実践的なワークショップを体験できたので、現場でもすぐ活用できそうです」

「感染防止に注意しながら開催していただき感謝です」



プログラム

- 10:15- オープニング/JICA中国
開会挨拶/EPOちゅうごく
- 10:30- NIE概論、ワークショップ「新聞×SDGs」
/日本NIE学会理事 有馬進一氏
- 12:25- 地域新聞社NIE事例紹介
/山陽新聞社NIE推進部 山本直樹氏
中国新聞社読者広報部 伊藤一亘氏
- 12:45- グループ内での感想・意見交換
- 12:55- 質疑応答
- 13:00 クロージング、写真撮影、アンケート記入

地域新聞社NIE事例紹介



- ・山陽新聞社
NIE実践指定校/公開セミナー/
「さん太新聞館」についてなど
- ・中国新聞社
出前授業/NIE推進協議会/
「ちゅービーパーク」についてなど